

Doc.No : NR990721

1999年7月21日

エコノミータイプのウエハー膜厚測定装置を発売

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区/社長：石田 明)は、WindowsNTを採用し、操作が簡単になった光干渉式膜厚測定装置ラムダエース「VM-1000」を7月21日から販売します。

今回発売する装置は、ウエハー上の膜厚の干渉色を分光する原理にもとづき非接触、非破壊で高速・高精度に測定できるラムダエースVMシリーズのエコノミータイプ。優れた測定精度・再現性など好評を博している機能を継承、さらに操作性、経済性を向上させています。

また、各種データの2次加工と測定プログラムのユーザー定義、およびSECSプロトコルを介したホストコンピューターとの通信(オプション)にも対応します。

【特長】

1) 優れた再現性

平坦結像型ホログラフィック凹面回折格子と、1次元CCDイメージセンサーの採用により2,000点以上のサンプリングポイントを可視光域の全波長域にわたって同時に測光。非常に再現性の優れた測定データが得られる。

2) マウスによる簡単操作

OSにWindowsNTを採用。従来のキー操作からマウスによる簡単操作。また、レシピ・ウィザード機能を使用することにより、複雑なレシピ作成作業を簡単に行え、レシピの管理、登録数も大幅に向上。

3) データの2次加工にも対応

測定データの3次元マッピング表示、膜厚値修正機能、ヒストグラム表示、統計計算などデータのきめ細かい2次加工が可能。

4) 25種の膜厚を測定

標準で25膜種の膜厚測定と分光反射率測定に対応。また、標準以外の各種測定プログラムを幅広く準備。また、最大4層膜までの積層膜同時測定、屈折率測定が可能。(最大4層膜サンプルの1層)

5) ネットワークに簡単に接続

LANボードを装着することにより、ネットワークに簡単に接続可能。(オプション)

【販売価格】

720万円(消費税別)

【年間販売台数】

20台

【販売開始日】

1999年7月21日



エコノミータイプのウエハー膜厚測定装置「VM-1000」

この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。(<http://www.screen.co.jp/press/photo.html>)